

はじめに

近年、環境問題は複雑・多様化しており、地球温暖化による気候変動をはじめ、生物多様性の保全・再生やプラスチックごみによる海洋汚染、食品ロス削減、廃棄物の適正処理など、人間の活動に伴う環境への負荷は増加しています。

このような中、本市にとっても環境問題は重要な課題となっており、次世代を担う子供たちに健全で恵み豊かな環境を引き継いでいくためには、市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化対策や生物多様性の保全などの環境問題の改善に取り組むことが重要です。

本市では、2050年に温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするゼロ・カーボンの実現に向け、令和4年4月にゼロカーボンシティ推進室を環境部に設置しました。地球温暖化対策への新たな事業として、避難所施設への太陽光発電設備や蓄電池設備の導入事業を実施しています。また、清掃工場の廃棄物を焼却する際に発生する熱エネルギーを利用して発電した余剰電力を公共施設へ送電する自己託送実証事業を開始し、令和5年10月には県内では初めての取組みである、自己託送等による電力とカーボンニュートラルガスの活用により市役所本庁舎から排出されるCO₂排出量を実質ゼロにするゼロ・カーボンを達成しており、今後も廃棄物発電の公共施設での活用を拡大し、環境問題への取組みを加速させてまいります。

また、生物多様性の保全と持続可能な利用を目指し、自然環境保全の各施策の現状の整理と課題の抽出を経て、施策の見直しを行い、令和4年3月に「生物多様性ふなばし戦略」の改定を行いました。令和4年度からは、同戦略の重点的な事業の1つである、生物多様性に関する取組みのリーダーや、市民団体の後継者などを育成することを目的とした「ふなばしエコカレッジ」を開講いたしました。

今後も引き続き環境の保全及びより良い環境再生・創出を行うため、本市が目指す環境像である「みんなでつくる 恵み豊かで持続可能な都市 ふなばし」の実現に向けて、さまざまな施策を推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本書は、令和4年度における本市の環境状況や環境保全の施策及び船橋市環境基本計画の進捗状況を掲載しています。皆様に広く活用され、環境への関心をより一層深めていただければ幸いです。

令和6年1月

船橋市長 松戸 徹